

殺処分分の減少と野良猫の減少を両立 〜さくらねこの取り組みにご協力ください〜

問い合わせ 環境課 ☎ 2264

愛くるしい姿やしぐさでいつの時代も人気のある猫。
しかし、かわいいからといって野良猫に無責任に餌を与えると地域の猫が増えてしまい、鳴き声や臭いで他人に迷惑な思いをさせてしまいます。

全国では年間30,757匹(平成30年度)の猫が殺処分されました。猫の殺処分を減らし、人間にも猫にも暮らしやすい地域を実現するため、さくらねこ(地域猫)として野良猫が増え過ぎないように管理していく必要があります。市はさくらねこの活動に取り組む動物愛護団体と地元住民を支援しています。



ボクたちさくらねこは人と共生できるよう地域のみなさんに大切に管理されています

さくらねこって何？

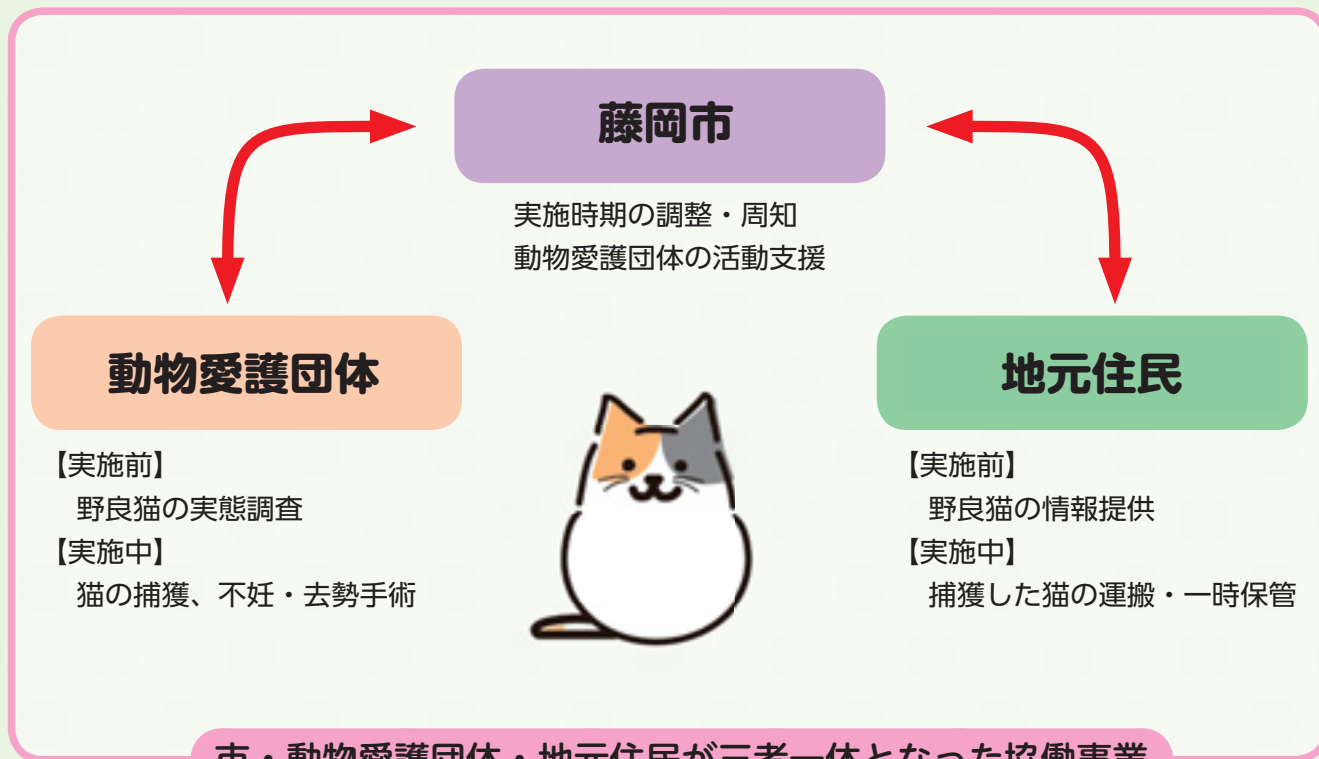
「さくらねこ(地域猫)」は、人と共生するために不妊・去勢手術を済ませた猫です。

猫は不妊・去勢手術をすると人にとって迷惑な行動が減るため、人と共生しやすくなります。

不妊・去勢手術を済ませていない猫と区別するため、片耳を桜の花びらの様にV字にカットしています。

【さくらねこの特徴】

- ・発情期の鳴き声が減る
- ・マーキングの回数が減る
- ・猫自身と尿の臭いが弱くなる
- ・将来的に野良猫が減る



野良猫の被害に遭っている人へ

さくらねこにご理解ください

不妊・去勢手術を済ませた猫は人にとって迷惑な行動が減り、これ以上増えることもありません。1代限りの命を優しく見守ってください。

野良猫を助けたいと思っている人へ

餌やりは決まった時間に行い、無責任な置き餌をやめる

置き餌をすると、地域の猫が増えてしまうだけでなく、猫のだ液で雑菌が繁殖したり、猫の感染症を媒介する危険があります。餌は決まった時間に与え、残った餌は捨てましょう。

大切な飼い猫は完全室内飼いで外に出さない

猫にとって屋外は、他人に迷惑な行動をしてしまうだけでなく、交通事故や感染症のリスクが高い危険な場所です。猫が外に出たがっても外には出さず、室内で飼いましょう。

◆NPO法人「群馬わんにゃんネットワーク」

市ではさくらねこの活動を動物愛護団体「NPO法人群馬わんにゃんネットワーク」と協力して行っています。NPO法人群馬わんにゃんネットワークは資源ごみの回収や会費、自治体などからの支援で野良猫の捕獲や不妊・去勢手術を行っています。

この活動を行った行政区の区長の話では「野良猫の不妊・去勢手術を行ってから、野良猫に関する苦情がなく、非常に効果的な事業だと感じた」との声も寄せられています。



事業で捕獲された猫